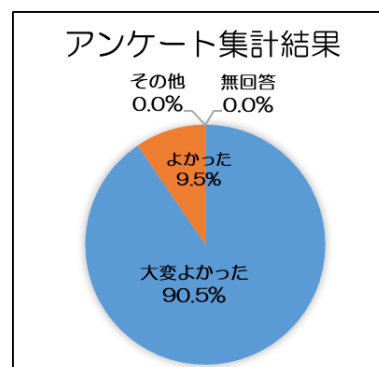


令和4年度 特別支援教育講座 特別支援教育研修会Ⅱ

目的	特別な支援を必要とする子どもや保護者への対応を学ぶ
日時・場所	令和4年10月14日（金）15：00～16：45 清水地区コミュニティセンター
対象	乳幼児教育・保育施設等職員 ＊西九州させぼ広域都市圏対象講座
演題	共生社会の担い手を育むを保育の合言葉に ～支援の必要な子どもの視点で保育を見直しながら～
内容	講義
講師	独立行政法人 国立特別支援総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター 上席総括研究委員・センター長 久保山茂樹 氏

参加者（合計 63 名）				
保育所	幼稚園	認定こども園	その他	連携中枢都市
22	5	25	3	8



【感想】

- 気になる子どもを見る目が変わりました。気になると思っ
ていましたが、明日から一緒に楽しみたいと思います。
- 評価のまなざしになっていなかったかな？と日頃の子ども
への関わりを振り返ることができました。
- 保育士自身が変われば子どもが変わるということを頭にお
いて日々の保育を行っていきたいと思います。
- 自分の声掛けや支援は、多数の子どもたちに合わせるもの
だったなと思反省しました。これからは、その子に合った
やり方で、関わっていこうと思います。
- 共生社会の担い手を育てるという大切な役割を担っているこ
とをしっかりと受け止め、今後の保育を行っていきたいです。
- まず先生の心地よい語り口調、最初から心をつかまえる話の
進め方で期待は倍増しました。何回も聞いたことのある話…
ではなく、ハッとさせられる特別なことを言われているわけ
ではなく、誰でもできること、自分が変わる、本当に基本的
なことなのに印象に残る話で引き込まれました。みんなに必要な支援、これがインクルーシブ
なのだと全職員に聞いてほしいと思いました。

